

平成27年12月28日から  
平成27年12月28日まで

標 茶 町 議 会  
第 4 回 臨 時 会 議 録

於 標茶町役場 議場

## 平成27年標茶町議会第4回臨時会会議録目次

### 第 1 号（12月28日）

開会の宣告	2
開議の宣告	2
会議録署名議員の指名	2
会期決定	2
行政報告及び諸般報告	2
議案第78号 平成27年度標茶町一般会計補正予算	3
閉議の宣告	8
閉会の宣告	8

## 平成27年標茶町議会第4回臨時会会議録

### ○議事日程（第1号）

平成27年12月28日（月曜日） 午前10時00分開会

- 第 1 会議録署名議員の指名
- 第 2 会期決定
- 第 3 行政報告及び諸般報告
- 第 4 議案第78号 平成27年度標茶町一般会計補正予算

### ○出席議員（13名）

1番 櫻井一隆君	2番 後藤勲君
3番 熊谷善行君	4番 深見迪君
5番 黒沼俊幸君	6番 松下哲也君
7番 川村多美男君	8番 渡邊定之君
9番 鈴木裕美君	10番 平川昌昭君
11番 本多耕平君	12番 菊地誠道君
13番 館田賢治君	

### ○欠席議員（0名）

### ○地方自治法第121条の規定により説明のため出席した人

町 長	池田裕二君
副 町 長	森山豊君
総務課長	島田哲男君
企画財政課長	高橋則義君
企画財政課参事	常陸勝敏君
管理課長	中村義人君
農林課長	牛崎康人君
教育長	吉原平君

### ○職務のため出席した事務局職員

議会事務局長	佐藤弘幸君
事務局次長	中島吾朗君

(議長 館田賢治君議長席に着く。)

◎開会の宣告

- 議長（館田賢治君） ただいまから、平成27年標茶町議会第4回臨時会を開会します。  
ただいまの出席議員13名、欠席なしであります。

(午前10時00分開会)

◎開議の宣告

- 議長（館田賢治君） 直ちに会議を開きます。

◎会議録署名議員の指名

- 議長（館田賢治君） 日程第1。会議録署名議員の指名を行います。  
会議録署名議員は、会議規則第123条の規定により、  
2番・後藤君、 3番・熊谷君、 4番・深見君  
を指名いたします。

◎会期決定

- 議長（館田賢治君） 日程第2。会期決定を議題といたします。  
お諮りいたします。  
本臨時会の会期は、本日1日といたしたいと思えます。  
これに、ご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

- 議長（館田賢治君） ご異議ないものと認めます。  
よって、本臨時会の会期は、本日1日と決定いたしました。

◎行政報告及び諸般報告

- 議長（館田賢治君） 日程第3。行政報告及び諸般報告を行います。  
町長から、本臨時会招集理由とあわせて行政報告を求めます。  
町長・池田君。

- 町長（池田裕二君）（登壇） 第4回臨時町議会の開催にあたり、その招集理由並びに行政報告について申し述べます。

まず、はじめに本臨時会の招集理由についてであります。懸案となっております食肉加工センター候補地案の件につきましては関係者において協議を進めてきており、下流域の同意に向け、地下浸透方式による処理が可能であるか確認をするため、新たに地質調査の実施が必要となりましたので、それに関する平成27年度標茶町一般会計補正予算のご

審議をいただきその議決をいただきたく、本臨時会を招集したものであります。

続いて行政報告をいたします。

第4回定例会後から昨日までの一般事務及び行政上の経過につきましては、印刷配付のとおりでありますので、それによりご理解いただきたいと存じます。

以上で、本臨時会にあたっての招集理由並びに行政報告を終わります。

○議長（館田賢治君） 次に議長から、諸般報告を行います。

諸般の報告は、印刷配付のとおりであります。

以上で、行政報告及び諸般報告を終わります。

#### ◎議案第78号

○議長（館田賢治君） 日程第4。議案第78号を議題といたします。

本案について提案理由の説明を求めます。

企画財政課長・高橋君。

○企画財政課長（高橋則義君）（登壇） 議案第78号の提案趣旨についてご説明申し上げます。

本案につきましては平成27年度標茶町一般会計補正予算（第5号）でありまして、食肉加工処理施設整備に係わる調査のため、歳入歳出それぞれ1,030万円を追加し総額を122億9,226万4,000円といたしたいというものでございます。

これに対応する財源につきましては、地方交付税の増額により収支のバランスを図ったところであります。

以下、内容についてご説明いたします。

補正予算書の1ページをお開きください。

平成27年度標茶町一般会計補正予算（第5号）

平成27年度標茶町の一般会計補正予算（第5号）は、次に定めるところによる。

（歳入歳出予算の補正）

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1,030万円を追加し歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ122億9,226万4,000円とする。

2 歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、「第1表 歳入歳出予算補正」による。

以下、内容につきましては、歳入歳出予算事項別明細書に従いご説明申し上げます。

8ページをお開きください。

（以下、補正予算説明書に基づき説明のため、記載省略）

なお、2ページ・3ページの「第1表 歳入歳出予算補正」につきましては、ただいままでの説明と重複しますので説明は省略させていただきます。

以上で、議案第78号の内容説明を終わります。

○議長（館田賢治君） 本案の審議に入ります。

これより質疑を行います。

歳入・歳出予算の補正、歳出について質疑を許します。

ご質疑ございませんか。

11番・本多君。

○11番（本多耕平君） 私のほうから1点お伺いいたします。先ほどの町長の行政報告でもご案内があったように、今回のこの予算については食肉加工における地下浸透方式についての可能性がどうかということの調査費ということで。この地下浸透方式の今回1,030万のどういう内容の調査をするのか、さらにはその地下浸透だけの調査費なのか、それに付帯することも含めての1,030万円なのかということをお聞きしたいと思います。

○議長（館田賢治君） 農林課長・牛崎君。

○農林課長（牛崎康人君） お答えいたします。1,030万円の内容でございますが、土質ボーリング1孔の予定でありまして深さについて1,500メートルを予定してございます。ボーリング調査以外のものも含まれるかとお尋ねにしましては、ボーリングのほかに土質の試験、そして地質の解析調査一式を含めて1,030万円となっております。

○議長（館田賢治君） 本多君。

○11番（本多耕平君） 土質ボーリングということで、1,500メートルと。私の聞き間違えかな。その根拠を。1,500メートルの根拠を教えてくださいたいと思います。

○議長（館田賢治君） 農林課長・牛崎君。

○農林課長（牛崎康人君） お答えいたします。申し訳ございません。私、数字を読み間違えました。深さにつきましては150メートルでございます。これまでのデータ等を用いまして求める岩盤が存在するのが150メートルほど掘らなければ確認できないのではないかとことを根拠にして求めております。

○議長（館田賢治君） 本多君。

○11番（本多耕平君） 最後ですので。このボーリングの調査ですね、委託する会社と言いますかその調査するのはどのような根拠をもって、委託業者を選定しているのかもお聞きしたいと思います。

○議長（館田賢治君） 農林課長・牛崎君。

○農林課長（牛崎康人君） お答えいたします。委託先の業者につきましては、今後庁内で開催されます、指名委員会において決定されます。農林課からの提案につきましては、これまでの実績等を勘案しながら提案していきたいというふうに考えておりますのでご理解いただきたいと思っております。

○議長（館田賢治君） 他に質疑ございませんか。

2番・後藤君

○2番（後藤 勲君） 金額の話も私も聞こう思ったのですが、本多君のほうからその

話が出たのでわかりましたけれども、ただ前回から町内においてそれなりの場所を設定するのに探すということだったのですけれども元に戻ったというような経過というのはですね、どこの場所がどうのこうのではなくて、何ヵ所くらい調査しながらそこに戻っていったのかなというのかなというような経過だけでも教えていただければなと思うのですが。

○議長（館田賢治君） 企画財政課参事・常陸君。

○企画財政課参事（常陸勝敏君） お答えしたいと思います。元に戻ったという決定ではまだございません。そこはご理解いただきたいのですが、この間ご案内のとおり組合長会のほうから元々予定していた場所での協議について、時間がかかっているということで別な場所も探して候補地として選定する作業を進めていただきたいという要請も受けて、その作業をしてきております。

標茶の場合、3水系になるのですが水系別にそれぞれ数ヵ所ピックアップをこちらのほうで作業としてきております。その中でどの場所が適地かとかの部分につきましてそれぞれ水系別にも課題もございますし、条件も違います。その中でこの間、他の場所の選定の中でもそれぞれ下流域関係者との協議については、難しい部分もお声として聞こえてきております。その中で、ではどういう選択をすべきかというようなところを関係者との協議も含めてやはり1点に絞るのがいいのではないかとこのところを、まずそこを目標に。その中で今回調査費としてあげさせていただいた、それぞれの河川流域でも河川放流に関しての懸念さというところの声がありますので、河川放流ではなく地下浸透方式という廃水の処理を出来ないかということで今回調査をしてみたいと。その中で場所についてはその方式が可能であればこちらとして決定をし、下流域との協議のほうにあたっていきいたいという考えでございますので是非ご理解いただきたいと思っております。

○議長（館田賢治君） 他に質疑ございませんか。

5番・黒沼君。

○5番（黒沼俊幸君） いまちょうど後藤議員がいままでの適地をどのように選定していったかについて私も聞こうと思っていましたので、もう一つ私が確認しておきたいことをお尋ねしたいと思います。

12月の10日に加工センター整備検討委員会が開催しておりますし、21日も加工センター整備検討委員会が開催されて、きょうは1週間目で臨時会開催ということに進んでいるわけですが、この21日の検討委員会でいま浸透方式による排水処理をいろいろ協議されたのではないかと想像しますが、その辺のことについては検討委員会ではどのような判断をしているかについて伺いたいと思っております。

○議長（館田賢治君） 企画財政課参事・常陸君。

○企画財政課参事（常陸勝敏君） お答えしたいと思います。12月10日それから21日の整備検討委員会、打ち合わせの概要でございますけれども、いま後藤議員の質問にもお答えしたとおり、数ヵ所の各水系別に場所の選定もお願いしたいという要請も受けたものです。

から、こちらでピックアップした候補地について、まずは水系別に1カ所に絞ってトータルで3カ所の提示もさせていただきました。その中にさらにもう一つこういう場所もあるのではないかと会議の中で出てきたものですから、そこも含めて4カ所の候補地としてどういうふうに持っていきこうかというような検討をしてきたところです。

その中でいま議員のほうからお話のあった地下浸透方式ですね、その部分についてはこちらとしても、河川放流に関してやはり懸念があるという、将来的にどうなのかというようなご意見があるものですからその技術がどうなのかというところの調査をさせていただきまして、技術的に可能性があるというところ、それから今回地質調査させていただこうと思っただけの予算案ですが、要は堅い層があって下に砂れき、浸透層があればそこに戻すことによって河川にはでてこないというところで下流域関係者との協議においてはその方式がとれば良い方向に進められるのではないかとというようなところで、検討委員会の中でもこういう方式、可能性がりますという提示もさせていただき、調査もしてみようという経過でございます。

場所についてはいま4カ所の候補地をあげた中で、アクセスそれから条件等を考慮しながらどこが良いのかというような選定を、その地下浸透方式の調査結果をもって1点に絞るべきではないかというような経過で協議結果となっております。ですからまずはこの調査をしてデータをとり、その影響度等もシミュレーションもしますので、それをもって検討委員会として最終的に決定をしていきたいなというところでございますのでご理解いただきたいと思っております。

○議長（館田賢治君） 5番・黒沼君。

○5番（黒沼俊幸君） 了解いたしました。それでですね厳寒期に入りますけれど、この工事はどのくらいの期間でですね、終わらせたいのかもお聞きしておきたいと思っております。

○議長（館田賢治君） 農林課長・牛崎君。

○農林課長（牛崎康人君） いまのところの予定ですけども一応ですね余裕を持って2月末くらいの工期設定ということで考えております。発注にあたりましては時間的なことを考えましてできるだけ早く上げてもらうような形で要請しながら進めていきたいというふうに考えております。

○議長（館田賢治君） 他に質疑ございませんか。

1番・櫻井君。

○1番（櫻井一隆君） いま結論からいうと、150メートルボーリングして地層調査をすると、結果については2月末頃には出ると。その後シミュレーションをして地下水への影響とかそういうものも考慮しながらやっていくのだよと、こういうことかと思うのですが、この地下浸透をするにあたって1日にどの程度の排水を処理することを想定しながら地下浸透方式を選ばれたのかそこらを伺いたい、こう思うのですが。

○議長（館田賢治君） 農林課長・牛崎君。

○農林課長（牛崎康人君） お答えいたします。地下浸透方式に限らず当初から建設計画の中で数字を出してございますが、そちらについては1日500トンという排水量であります。こちらについてはですね、牛1頭当たりの処理に要する水量ということで掛ける頭数ということで出されたものでございます。

○議長（館田賢治君） 1番・櫻井君。

○1番（櫻井一隆君） 私と黒沼議員が去る11月11日から12日にかけて、大空町東藻琴にある北見工場、ここと翌日十勝に行きまして帯広の十勝工場を視察させていただきました。そういう中でお聞きした中の話ですが、東藻琴の北見工場においては1頭処理するのに1.5トンから2トンの間で処理しているというお話だったのです。そして十勝の工場においては、4トンから5トンの雑排水も含めて使っているのだと。同じホクチクの工場において倍近い使用水量の差が生じていると。こちらについてお調べになっているのかそこらをどういう見解を持っているかお聞きしたいと思います。

○議長（館田賢治君） 農林課長・牛崎君。

○農林課長（牛崎康人君） お答えいたします。排水の計画につきましては、議員のお尋ねはこちらのほうで調べているのかということだったのですけれども、排水計画につきましては北海道畜産公社こちらのほうで立ててもらったものであります。ですから議員、調査されたという北見工場それから十勝工場それぞれの排水量については、それぞれの実態に応じた形の中で今回新しい計画について500トン排水するということになったというふうに理解しております。1頭当たり5トンというのがですね北海道の標準的な屠殺それから食肉加工処理の際に必要な水の水量だということで、資料として出されているものを根拠にしているというふうに畜産公社のほうから伺っております。

それから水の関係が問題になってからはですね当方から公社に対して節水型の施設というものはないのかとか、そんな形の中で排水量総体をですね減少させることができるのではないということも問いかけしたところではありますが、こちらについては特段新しいものがないのだということの説明を受けて現在に至っております。

○議長（館田賢治君） 1番・櫻井君。

○1番（櫻井一隆君） このボーリング調査については基本的なものですから、その結果地層がどういうことになるか、あるいはいま想定しているところが限定されているものではない、流動的なものだということになるにしてもこの処理水のボリュームがですねこれからできるであろう食肉加工センターについてですね、大きな金銭的なボリュームが膨れるということにつながるかと思うのでいまいち、排水量をできるだけ出さないような方式というものを、この地層調査とは別な項目なのでしょうけれども検討されておいたほうがよろしいのではないかと私は思います。そこらについてはどうでしょうね。

○議長（館田賢治君） 農林課長・牛崎君。

○農林課長（牛崎康人君） お答えいたします。貴重なご意見ありがとうございます。こ

れから実施調査、実施設計等の段階で再度その線については精査をしていきたいというふうに考えております。

○議長（館田賢治君） 他に質疑ございませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（館田賢治君） なければ、歳入歳出予算の補正、歳入について質疑を許します。ご質疑ございませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（館田賢治君） 質疑はないものと認めます。

質疑は終結いたしました。

これより討論を行います。

討論ございませんか。

（「なし」の声あり）

討論はないものと認めます。

これより本案を採決いたします。

本案を原案可決してご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（館田賢治君） ご異議ないものと認めます。

よって、議案第78号は、原案可決されました。

#### ◎閉議の宣告

○議長（館田賢治君） 以上をもって、本臨時会に付議された事件の議事は、全部終了いたしました。

これで、本日の会議を閉じます。

#### ◎閉会の宣告

○議長（館田賢治君） 以上で、平成27年標茶町議会第4回臨時会を閉会いたします。

（午前10時26分閉会）

以上会議のてん末を記載し、その相違ないことを証するためにここに署名する。

標茶町議会議長 館 田 賢 治

署名議員 2番 後 藤 勲

署名議員 3番 熊 谷 善 行

署名議員 4番 深 見 迪